

第4回 臨床宗教師養成講座 募集要項

種智院大学臨床密教センターでは 2023 年 9 月より、臨床宗教師養成講座を実施いたします。臨床宗教師とは、広い宗教性に基づきつつ公共空間において超宗派・超宗教的な立場から人々の「心のケア」を実践する宗教者のことです。2017 年に一般社団法人日本臨床宗教師会が設立され、これまで214 名の認定臨床宗教師が誕生しました（2021年9月現在）。この内、当養成講座を修了した認定臨床宗教師は11名になります。本講座ではセンターの設立理念である密教、そして宗祖弘法大師空海の教えに基づきつつ、他宗教・他宗派の宗教者と共に公共空間で活動できる臨床宗教師の養成を目指します。

今回で当センター実施の養成講座は4回目となりますが、コロナウイルス感染症蔓延の為にしばらく実施を見送っておりました。しかし今年度、実習を受け入れてくださる各医療機関のご協力があった、やっと再開することができました。ここで改めて実習に協力して下さる医療機関様にお礼を申し上げます。講座実施に際しては十分にコロナウイルス対策を行います。受講を希望する皆様にも最大限の対策をとっていただきますことをお願い致します。

なお今回の講座は東北大学死生学・実践宗教専攻分野との共催で、研修会場は真言宗大本山石山寺にご協力いただき実施します。

【本講座の特徴】

- 自身の信仰する宗教の教義を再度見つめ直すと共に、どのようにして教えを現代社会の問題に活かし活動できるか、その可能性を追求します。
- 短期集中型(3ヶ月)のカリキュラムによって、自身の宗教者としての活動に忙しい方でも受講することができます。
- 合宿形式で講座を行うことにより受講者同士の交流を深め、問題意識を共有します。
- 他宗派・他宗教の方にも研修に参加頂き、異宗教間交流を体験することができます。
- 医療現場で活動されている方を講師にお招きし、現場で必要とされる宗教者のあり方を学びます。
- 当センターは一般社団法人日本臨床宗教師会の「臨床宗教師養成教育プログラム」の実施機関として認定されています。研修修了後に法人所定の条件を満たせば、「認定臨床宗教師」の資格を取得することができます。

申込締切 2023年7月25日(火)必着



種 智 院 大 学

臨床密教センター

募集要項

- ☆募集人数 10 名程度（最少実施人数 5 名） ※応募者多数の場合、年齢・性別・地域のバランスを総合的に判断し決定します。
- ☆受講資格 以下の条件をすべて満たすもの
- 1, 真言宗の僧籍を有するもの、あるいは種智院大学の建学の精神に基づいて運営される講座の趣旨に賛同できる宗教者
 - 2, 各宗教教団に所属し、宗教者としての実活動経験が 3 年以上の者
 - 3, 原則コロナウイルスワクチン接種を 3 回終えている者
- *健康上の理由等で接種していない方はその旨申告してください。現場実習先の医療機関では PCR 検査が義務付けられる可能性があります。
- ☆申込締切 2023 年 7 月 25 日(火) 必着
- ☆受講料 12 万円
- ※全体会中の食費・宿泊費および医療福祉施設での実習費(合計 15,000 円程度)は別途徴収。
実習先への交通費・宿泊費及び実習参加に必要な PCR 検査料は自己負担。

申込方法

指定の申込用紙に必要事項を記入し、下記のレポート全てを添えて郵便で送付してください。

☆提出書類

1. 指定の申込用紙
ホームページより各自ダウンロードして印刷・記入する。「希望する実習先」は別紙「実習先一覧」より選択すること。
2. 参加動機
これまで/これからの自分自身の「臨床宗教師」としての活動をふまえて、今回の研修に参加する動機や、研修で特に学びたいこと、希望する実習先を選択した理由について 1000 字程度にまとめる。
3. 生育歴
出生から現在に至るまで、自分の人生に影響を与えた出来事について、その時の思いを含めて 5000 字程度で記述する。さらに、記述して気づいたことや感想を 1600 字程度にまとめ、1600 字程度のレポートだけを提出する。(5000 字程度のレポートは研修が終わるまで自分で保管する。)
4. 信仰歴
自分自身の人生観、死生観、他宗教との関わり、影響を受けた人物や書物などを踏まえて、“信仰者となり、さらに現在の「信徒の相談に応じる立場」になった経緯、その立場における相談の概要・方法”について、プライバシーに配慮しながら具体的な出来事を含めて 2000 字程度にまとめる。
5. 宗教者歴
自身の宗教者としての履歴について、得度・加行・灌頂を受けた年月と道場（又は各宗教・宗派での宗教者になるまでの過程）、そして宗教者となった後の具体的な活動場所と活動内容について簡潔にまとめる。書式・字数は自由。
6. 活動計画
これまでの社会活動を踏まえて、研修修了後の臨床宗教師としての活動計画について、できるだけ具体的に 1000 字程度にまとめる。

☆注意事項

いかなる理由があっても、全体会および実習の遅刻・早退・欠席は認めません。遅刻・早退・欠席があった場合は修了証を授与できません。途中で研修を辞退されても一度納入された受講料は一切返金致しません。
希望する実習先は必ず第3希望まで記入してください。また受講生全体のバランスを考慮して実習先を決定しますので、必ずご希望に添えるとは限らないことをご承知ください。

全体会 日程

【全体会1】 2023年 9月27日（火）～29日（木）

【全体会2】 2023年10月26日（木）～27日（金）

【全体会3】 2023年11月29日（水）～30日（木）

※各全体会(合宿形式)の合間に、医療福祉施設などでの分散実習(合計 4 日間)を行います。

全体会 会場

大本山 石山寺（滋賀県大津市石山寺1-1-1）

主なカリキュラム

☆講義科目

【臨床宗教師の理念】

臨床宗教師を提唱するに至った経緯、社会的背景、将来像について学びます。

【臨床宗教師の倫理】

「臨床宗教師倫理規定」に基づいて、臨床宗教師に求められる基本的な態度、及び 禁止事項について学びます。

【公共性の確保】

宗教者が公共性を確保するために必要な知識と知恵について、実例に則して学びます。

【スピリチュアルケア】

ホスピス運動とともに注目されるようになったスピリチュアルケアについて、その方 法と基本姿勢を理解します。

【グリーフケア】

喪失体験による悲嘆(グリーフ)とそのケアについて、宗教との関連を中心に学びます。 他の宗教者と協働するための思想や行動について学びます。

【民間信仰論】

地域社会における共同体やその成員の宗教文化の基層をなす民間信仰と、現代社会に おける宗教者の位置について学 びます。

【宗教間対話】

他の宗教者と協働するための思想や行動について学びます。

【宗教的ケア】

スピリチュアルケアと宗教的ケアの相違と共通点について、具体的な方法を交えて 確認した上で、宗教的ケアの特徴を理解します。

【在宅緩和ケア】

がん発症から、治療、緩和ケアまでのプロセスを踏まえて、在宅ケアの目的・ケア方法、 訪問先での留意事項につい て学びます。

☆グループワーク

【日常儀礼】

受講者の所属する宗教・宗派の日常的な儀礼を実施し、研修生全員で共有します。 毎日朝晩に実施して一日の区切り とします。

【研修振り返り】

全体会での学びを中心に、自分自身の課題を明らかにします。

【傾聴】

話す・聴く・観るの3人組のワークにより、傾聴についての基本姿勢を学びます。

【ロールプレイ】

人々が悲嘆している時、死についての苦悩、「霊的現象」についての相談などでの対応(対話や儀礼)を、ロールプレイ(役割演技)で実演します。

【会話記録】

現場実習において特に印象に残ったケースについて会話記録を作成し、読み合わせによって現場での経験を共有し、相互に学びます。

☆実習科目

【現場実習】

各自計4日間(1日8時間)の医療機関での現場実習を行います。

※実習先

- ・ささえ愛よろずクリニック(新潟県新津市)
- ・はもれびクリニック(千葉県鎌ヶ谷市)
- ・小笠原内科(岐阜県岐阜市)
- ・沼口医院(岐阜県大垣市)
- ・西栄寺訪問介護福祉事業 お寺の介護 はいにこぼん(大阪府大阪市)
- ・福山市民病院(広島県福山市)
- ・メリィホスピタル緩和ケア病棟(広島県広島市)

☆宗教体験

石山寺、龍谷大学瀬田校舎での勤行に参加させていただく予定です。

主な研修担当者(五十音順)

☆打本弘祐(うちもと こうゆう)

龍谷大学農学部 准教授、浄土真宗本願寺派教師、(一社)日本臨床宗教師会 登録臨床宗教師研修指導者・認定臨床宗教師、日本スピリチュアルケア学会指導スピリチュアルケア師、滋賀県死生懇話会委員。

☆谷山 洋三(たにやま ようぞう)

東北大学大学院文学研究科 教授、真宗大谷派僧侶、(一社)日本臨床宗教師会 事務局長・登録臨床宗教師研修指導者・認定臨床宗教師、日本スピリチュアルケア学会指導スピリチュアルケア師、元・長岡西病院ビハラー僧。

☆松本 峰哲(まつもと みねのり)

種智院大学人文学部 教授、臨床密教センター長、真言宗御室派僧侶、(一社)日本臨床宗教師会 理事・登録臨床宗教師研修指導者・認定臨床宗教師、宗教文化士。

問い合わせ・申込み先

種智院大学 臨床密教センター

〒612-8156 京都市伏見区向島西定請 70 番地

Email: rinmitsu@shuchiin.ac.jp

TEL: 075-604-5600(大学代表) FAX: 075-604-5646(松本研究室)

※現在センターには事務員が常駐していませんので、お問い合わせは原則Eメールもしくはファックスをお願いします。